

令和8年10月27日(火)入札にかかる質疑回答

件名：宝達志水武道館復旧工事

No.	質疑事項	回答
1	工事着手日については、入札公告に記載が無いため受注者によって着手日を提案できるものとしてよろしいでしょうか。	着工日は議決の翌日となります。
2	第1回目質疑回答(10/27)を確認させていただくと「別途協議」との回答が多いです。これらはすべて、「設計変更対象」と読み替えてよろしいでしょうか。	設計変更対象となります。
3	8外構付帯工事 残土運搬についてですが、運搬距離が20kmと記載ありますが20km圏内の残土処分場が受入れ不可と確認しております。 一方、20km以上の残土処分場への搬出は可能と確認出来ております。 その場合、処分運搬費の差分は、設計変更対象でよろしいでしょうか。	設計変更対象となります。
4	農地の借用期間は農閑期とありますが、農閑期とは10月1日～3月31日までと認識してよろしいでしょうか。	9月中旬から3月上旬と考えますが、農地耕作者との相談が必要となります。
5	外構埋設排水配管の施工期間中は、既設排水設備の利用が2～3か月程度制限される可能性があると考えております。 その場合の仮設トイレ等の代替設備につきましては、本工事では対応不要との認識でよろしいでしょうか。 必要となる場合、必要な数量等詳細を教えてください。	排水設備によるトイレ等の制限時は、近接の宝達志水総合体育館を利用することを想定しています。
6	仮囲いは、鋼板設置ではなくブラフェンス又は単管バリケードによる区画と考えますが宜しいでしょうか。	仮囲いは、安全性を考慮して施工者裁量にて設置してください。内容については、着工時の仮設計画図で確認します。
7	工事関係者の工事範囲出入り時のルール・手続き等はありませんでしょうか。 工事中の施設管理(守衛者の有無、鍵管理、防火管理者配置の要否等)についてご教示願います。	上記の仮設計画図で、町と協議となります。
8	工事期間中は、施設の利用はない(居抜き工事)と考えてよろしいでしょうか。 工期中は断水作業が必須となり水道が利用できない期間が発生します。	原則、施設を利用しながらの復旧工事となります。復旧範囲・順番を工程表で確認し、場所を限定して利用できる範囲や期間を確認します。断水時は質疑5の対応とします。
9	館内は、内履きに履き替えての移動・作業とし、動線の養生は特に計画いたしませんか宜しいでしょうか。 簡易足場の移動・設置や台車で運搬等、床汚損の恐れある場合には床を養生する計画といたします。	動線の養生は不要ですが、工事による養生を計画してください。
10	敷地内への進入動線について(大型車等の資機材搬出入経路について)ご教示願います。	資機材搬出入経路や資機材置き場並びに工事用駐車場についても仮設計画図にて確認します。
11	常駐警備員は配置せず搬出入車両がある時は、職員又は業者担当者による車両誘導を行いますか宜しいでしょうか。	歩行者や利用者の安全を考慮して決定してください。
12	作業時間は、平日昼間(8:00～18:00)に計画しますが宜しいでしょうか。	原則、平日昼間でいいと考えますが、時間帯については施設管理者との協議によります。
13	騒音・振動作業について、外構重機作業・大型車両(ダンプ)通行・ブレーカー(コンクリート研り等)使用作業が想定されます。 上記作業時間での作業といたしますが宜しいでしょうか。	上記同様に施設管理者との協議によります。
14	塗装工事においては状況により臭気が発生します。特段の対策はいたしませんか宜しいでしょうか。	よろしいです。
15	敷地内に塗料・モルタル等洗浄の為の仮設洗い場を設けるにあたり、既設散水栓及び排水桝(最終桝付近)の場所をご教示ください。	現地にてご確認ください。
16	外部工事で必要となる、建物周りの電源・散水栓の位置をご教示願います。	現地にてご確認ください。
17	工事範囲に係わる、既存のアスベスト含有建材についてご教示願います。調査履歴があれば、追加調査費用を見込むとして宜しいでしょうか。含有が確認され、処分が必要となった場合は実数精算(設計変更対象)と考えて宜しいでしょうか。	既存のアスベスト含有調査は行っていないです。処分が必要な場合は、設計変更対象となります。

18	北側側溝工事において、隣地水田に敷鉄板を敷設し、キャタピラ重機での作業を計画します。東側隣地空地には仮設事務所を設置し、資材の積替えを計画します。東側隣地を借用(町支給)として計画して宜しいでしょうか。 又、北側農地にキャリアダンプ等の機械運搬車両を通行させることを前提と致します。 上記不可の場合、代替地の提供をお願い致します。	東側隣地については一部(約2,000㎡)を除き、貸付けが可能です。詳細は落札決定後に協議により対応します。
19	フローリングの貼替について 部分貼替の図面となっていますが部分貼替を行う場合フローリングのさねを切断するため経年による反りの発生が予想されます 又既設フローリングは、サンダー掛けがされておりレベル合わせが難しく目違いや段差の発生も予想されます。従って既存フローリングは貼替を行わずにササクレ部の補修が現実的だと思います。 見積はササクレ部の補修で宜しいでしょうか	見積は貼替えを見込んでいます。現地確認で最適な施工方法を検討してください。
20	ウレタン塗装についても部分補修なので補修跡が分かりますがよろしいでしょうか、又一部コートラインも補修部分にかかっていましたがコートラインの補修も見込んだ見積で宜しいでしょうか	復旧での塗装・ビニールクロス貼では補修跡は分かりません。 また、コートライン補修はフローリング貼替えの金額に見込んでいます。
21	天井軽鉄下地について 既存図が無く懐長さが不明なため、1.5m以内と想定した見積でよろしいでしょうか	以前の質疑での既設図面をご確認ください。
22	搬出車両が2tD,4tDに単抜き上制限されていますが、11t等の大型車両の使用は可能でしょうか。	処分の数量に応じた車両を見込んでいます。大型車両での使用も可能です。
23	外部犬走り撤去で0.45BH程度の重機を東側隣地に入って使用する事は可能でしょうか。	復旧で必要な重機については、使用可能と考えています。
24	当該工事における施工内容は、工事着手前に一度現地と設計書・図面を持って設備会社、関係者も交え協議の上、その都度数量等に変更が生じた場合、設計変更の対象としてお願い致します。	了解しました。
25	現地確認を行い、設計図書に記載が無い敷地北西面の法面の土砂崩落、農地側への土砂流入等を確認しております。 本工事着手条件は事前対応工事が必要であり、また周辺地域の協議を頂いた上での施工条件としております。 受注後の速やかな対策工事指示を頂き、変更数量増減および金額決定をお願い致します。	本工事への影響が生じないよう、速やかに別途発注により適切に対応いたします。